

(前ページから続く)

【賛成多数で可決した議案など（表決が分かれた議案など）】

議案番号など	件名
議員発議案 第1号	ガソリン等の暫定税率の早期廃止を求める意見書

※ 可決した2件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。なお、提出した意見書は、右のQRコードから市議会ウェブサイトにて閲覧できます。



【表決が分かれた議案などに対する議員の賛否状況 ○：賛成 ×：反対】

※会派名は、鈴和および日本共産党は諸派、無は無所属です。

※議長 野間芳実は原則として採決に加わりません。

会派名	新緑風会							自由民主党鈴鹿市議団						市民の声				公明党		鈴和		日本共産党	無					
議員名	曾我 正彦	大杉 吉包	水谷 進	山口 善之	山中 智博	河尻 浩一	加藤 公友	松葉谷 光由	森 雅之	野間 芳実	森 喜代造	宮木 健	太田 龍三	田中 淳一	桐生 常朗	中西 大輔	市川 哲夫	薮田 啓介	市川 昇	藤井 栄治	藤浪 清司	池上 茂樹	船間 涼子	田中 通	南条 雄士	高橋さつき	石田 秀三	矢田真佐美
議員発議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたずめるものです。

公明党

藤浪 清司 議員

良好な生活環境の確保について

（質問）健康で安全な生活環境を阻害する要因である「騒音、悪臭、ポイ捨て、不法投棄、水質汚濁、雑草・かん木などの繁茂、動物の不適正な飼養」への対応と抑止効果を含め改善に資する「良好な生活環境の確保に関する条例」制定について尋ねる。

（答弁）関係法令などに基づく対応と情報媒体活用や出前授業での啓発等環境モラルの向上を図る。また、相談件数の推移や相談内容の分析を始め、条例制定による実効性や抑止効果について調査研究していきたい。

その他の質問 [ODX推進による効果検証](#)



市民の声

中西 大輔 議員

鈴鹿市の人事について

（質問）①2018年以降の退職者推移について分析と検討は②人事評価制度に対する評価と考えは③人事異動そのものの評価はあるか④職員に人事異動に対する満足度は聞くか⑤昇任試験の導入の考えは。

（答弁）①退職数について、待遇への不満だけではなく多様な要素があると考え。②他団体の制度も参考に、適切な制度運用に取り組む。③人事異動の評価は行っていない。④人事課として、満足度を直接聞くことはない。⑤昇任試験制度の実施は、困難である。



新緑風会

加藤 公友 議員

安心・安全な学校づくりに向けて

（質問）学校には現在、多様な子どもが在籍し、教員には個別の支援が求められている。このため、教員の業務は複雑かつ多忙で、特に新卒教員への影響は深刻な状況にある。本市で採用された新卒教員のうち担任を持つ割合と過度な負担を避けるための支援体制について問う。

（答弁）令和7年度の新卒教員30人のうち、29人が学級担任を務めている。また、校内指導教員や、学年主任、市で任用する学力向上支援員などが中心となり、日々の悩みから教科指導、学級経営など、幅広く指導・助言が行える体制を整備している。



新緑風会

曾我 正彦 議員

地域づくりモデル地区の創設について

（質問）人口減少や高齢化に伴う移動に関する課題などに対応する総合的な地域づくり「地域まもり」を進めるため、複数の地域づくり協議会が協働してモデル事業を創設することは可能か。可能な場合は人件費相当額の一括交付金への上乗せ、市職員の配置、地元採用は可能か。

（答弁）試行的に実施する場合は、予算面も含め、地域間での合意のもとであれば、課題解決手段として意義深い。人件費相当額の一括交付金上乗せは考えていないが、交付金の範囲であれば地元採用は可能である。

その他の質問 [〇自然災害発災時の海岸部地域の緊急避難](#)

